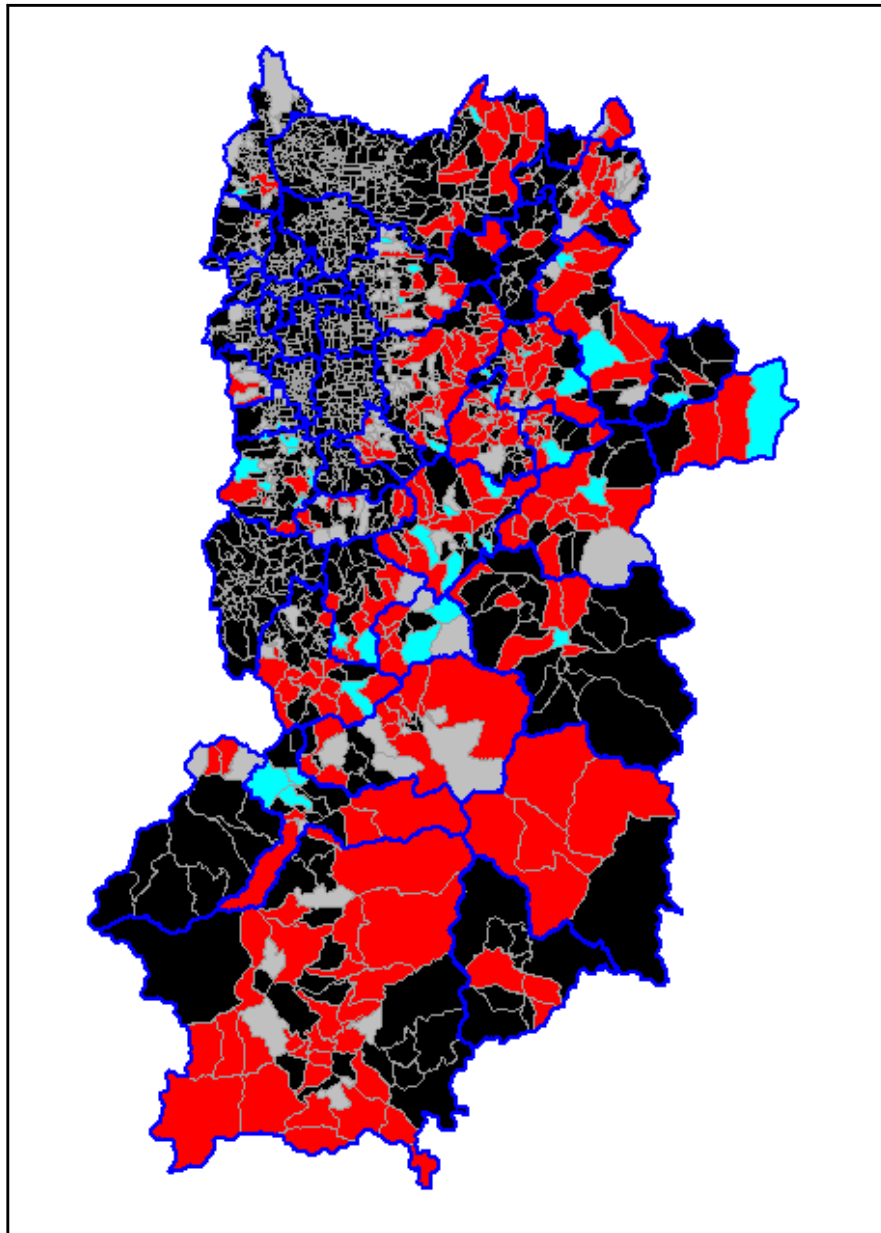


# 農業・林業集落アンケート調査によるノウサギの生息状況・被害状況 (平成24年度)

## 1. 平成24年度 林業集落アンケート調査によるノウサギの分布



右図は、平成24年度の農林業集落アンケート調査による、ノウサギの分布である。

林業集落でノウサギが「いる」と回答があった場合に「いる」と回答があった場合に「分布している」とした。回収無しには既に人が住んでいない集落も含まれている。

ほぼ県内全域の山林から「いる」と回答があった。

・平成24年度

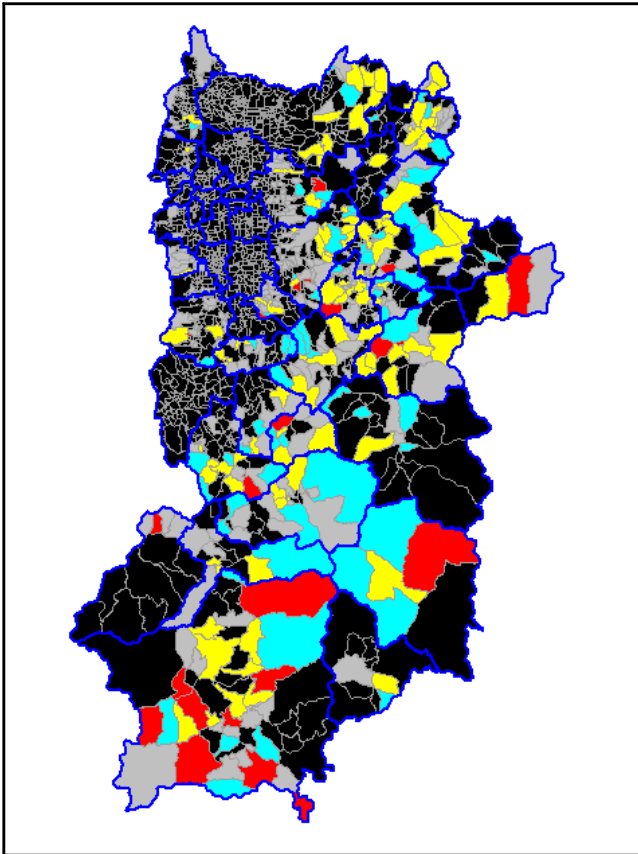
いる	245集落
いない	38集落
回答無し	136集落
回収無し	1389集落
全	1808集落

参考)平成23年度

いる	267集落
いない	64集落
回答無し	146集落
回収無し	1331集落
全	1808集落

凡例 図中 青線 旧市町村界 旧市町村界内側の線 大字・地区界  
 なお、この旧市町村界、大字・地区界の凡例は次項以降の図も同様である

## 2. ノウサギの山林・奥地森林での出没(平成24年度)



右図は平成24年度の林業集落アンケートによる、ノウサギの山林・奥地森林での出没状況である。

ノウサギが「いる」と回答があり、かつ本設問の回答があった194集落の内訳は下記の通りである。

平成24年度は「よく見る」との回答が約12%、たまに見るが約53%、あまり見ないが約35%であった。

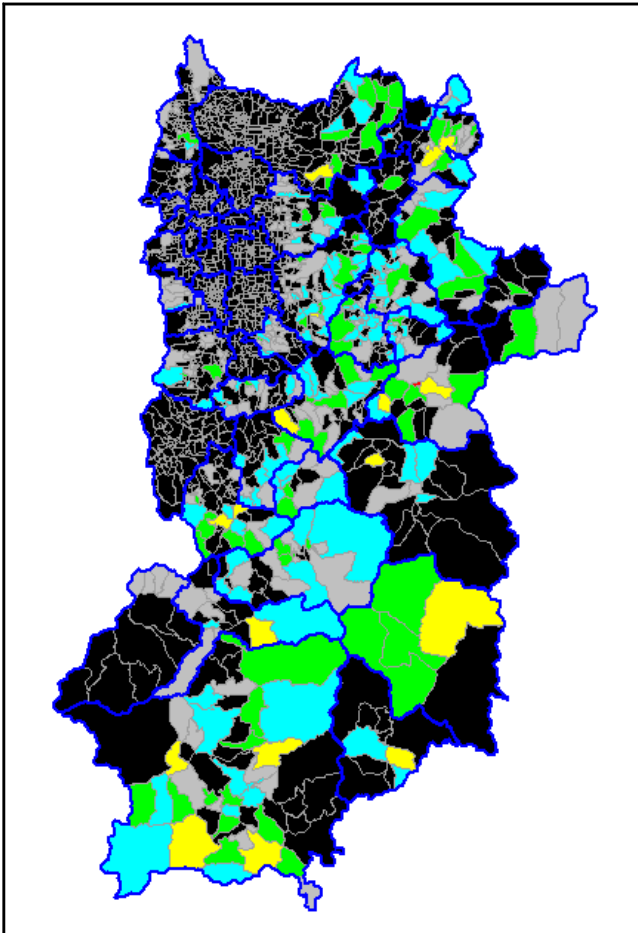
・平成24年度

よく見る	23集落(11.9%)
たまに見る	103集落(53.1%)
あまり見ない	68集落(35.1%)
回答数	194集落

参考)平成23年度

よく見る	23集落(11.3%)
たまに見る	106集落(52.2%)
あまり見ない	74集落(36.5%)
回答数	203集落

## 3. ノウサギの林業被害の大きさ(平成24年度)



右図は平成24年度の林業集落アンケートによる、ノウサギの林業被害の大きさの意識調査の結果である。ノウサギが「いる」と回答があり、かつ本設問に回答のあった集落の内訳は下記の通りである。

ノウサギの林業被害は、「軽微」なものが約36%と最も多かった。「深刻」はわずか0.5%であり、「大きい」は約8%であった。

過去、ノウサギによる林業被害、特に新植地での摂食被害は非常に大きいものであったが、近年は新植地は少なく、ノウサギの被害も少なくいが、本年度の調査も、そのような状況を反映していた。

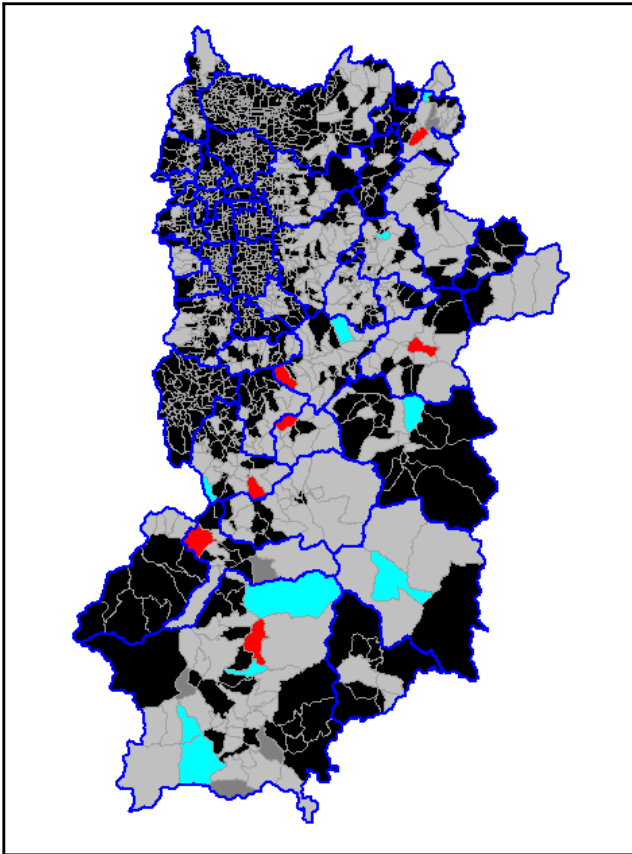
・平成24年度

ほとんど無い	128集落(57.1%)
軽微	77集落(34.4%)
大きい(生産量の30%未満)	18集落(8.0%)
深刻(生産量の30%以上)	1集落(0.5%)
回答数	224集落

参考)平成23年度

ほとんど無い	134集落(54.7%)
軽微	89集落(36.3%)
大きい(生産量の30%未満)	18集落(7.3%)
深刻(生産量の30%以上)	4集落(1.6%)
回答数	245集落

#### 4. ノウサギ被害対策 防護柵(侵入防止柵)の効果(林地・平成24年度)

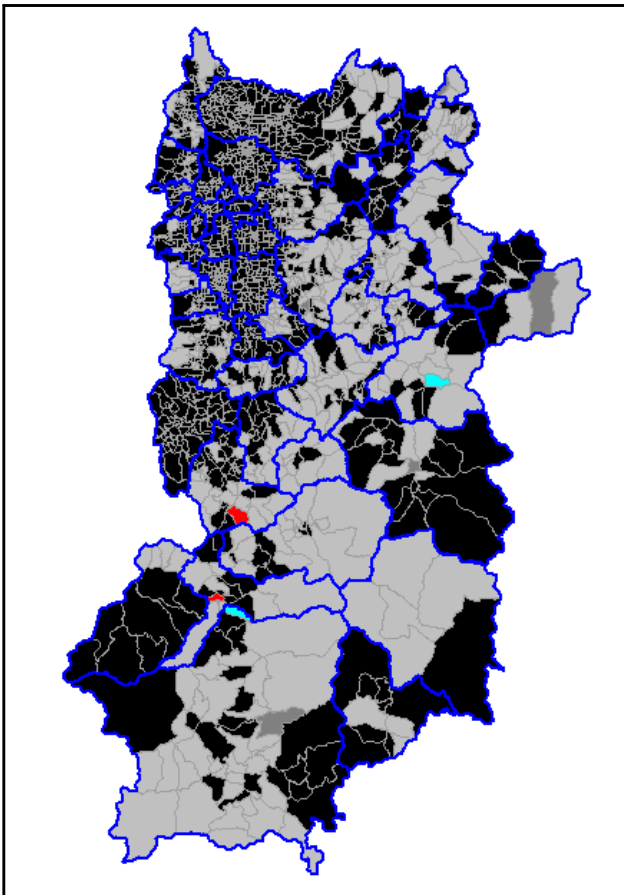


右図は平成24年度の林業集落アンケートによる、ノウサギの林業被害対策の、防護柵(侵入防止柵)の設置による効果の意識調査の結果である  
 ノウサギが「いる」と回答があり、かつ本設問に回答のあったのは17集落からであった。

・平成24年度	
■効果があった	7集落
■効果がなかった	10集落
回答数	17集落

参考)平成23年度	
■効果があった	6集落
■効果がなかった	8集落
回答数	14集落

#### 5. ノウサギの被害対策 有害捕獲の効果(林地・平成24年度)



右図は平成24年度の林業集落アンケートによる、林業被害対策の、有害捕獲を実施した効果の意識調査の結果である。

本設問へ回答は4集落からのみであった。

・平成24年度	
■効果があった	2集落
■効果がなかった	2集落
回答数	4集落

参考)平成23年度	
■効果があった	1集落
■効果がなかった	3集落
回答数	4集落